



## 新人紹介

石川 そら

( 社会医療法人敬愛会中頭病院 検査室 )

皆さん初めまして。社会医療法人敬愛会中頭病院検査室の石川そらと申します。今年の春から新社会人として中頭病院に入職し、念願だった検体検査部に配属されました。今は新しい生活や人との出会いに胸を高鳴らながら日々を過ごしています。

私は学生の頃、中頭病院で臨地実習を3カ月させていただきました。臨地実習では学校とは異なる雰囲気やなれない作業が多く毎日必死で過ごしていました。特に実際に患者さんの検体を扱っている場所ということでとても緊張したことを今でも覚えています。臨地実習では検査の方法や検体が届いてから結果が出るまでの流れや、結果の読み方、質問にも優しく丁寧に教えてくださり感謝の気持ちでいっぱいになったのと同時に自分はまだまだ知らないことばかりだと実感できもっと勉強しようと思うようになりました。教えてもらううちに各分野の知識をつなげながら判断することの大切さや教科書に載っていること以外の知識も必要になってくることに驚いたのと同時に働きながらも常に勉強しより良い仕事を行おうとしている皆様の偉大さと医療人としての誇りを感じました。また私の中で臨床検査技師は一人で黙々と作業をするイメージがあったのですが病院では多く患者様や他の医療スタッフの方たちとコミュニケーションを取りながら仕事を行う皆様の姿を見ることができました。これに驚いたのと同時に学校で学んだ「チーム医療」の大切さをより理解することができ、この仕事は多くの人に関わることで成り立っているということを実感することができました。

このように臨地実習では間近に臨床検査技師の皆様は働いている姿を見ることができ、臨床検査技師として働くイメージがより明確により臨床検査技師になりたいという思いがより強くなり国家試験へ向けた勉強をより頑張れたことを今でも覚えています。

今は検体検査科で各セクションを周り、それぞれの業務を学んでいます。実際に患者さんの検体を自分で検査を行っているのですが、自分の行動や手技で結果に影響が出ることに緊張や責任を感じます。まだまだスムーズに仕事を行うことができない私に根気強く仕事を教えてくださる先輩方のアドバイスを生かしながら日々勉強していき一人前の臨床検査技に知被けていければと思います。

この春から社会人になった私はまだ社会人、臨床検査技師として未熟です。今はまだできることは少ないですが、先輩方のご指導を仰ぎ1つ1つの業務を覚えて早く仕事に慣れるよう日々頑張りたいです。そして学会や勉強会などを通していき、いち早く医療により貢献できるスタッフなになれるよう頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。